

「住みたい田舎日本」 移住体験ツアー

〜田舎暮らしを1泊2日で体験〜



伊ワミ村田製作所にて参加者で記念撮影



ムラタセイサクくんを動かしてみる

大田市では、3月11日から12日にかけて、田舎暮らしを考えている人を対象に「移住体験ツアー」を行いました。

新神戸駅発着、1泊2日の行程のツアーに5人の参加がありました。

大田市へ到着した参加者は早速、昼食会場の天草(大田町)で新鮮なお刺身やワカメ・アサリの味噌汁など



に舌鼓を打ちました。昼食後、お店を出るとまだ雪の残る三瓶山が遠くに見える、豊かな自然に参加者は心打たれているようでした。



天草での昼食

次に向かったのは、セラミックコンデンサの開発や製造を行っている株式会社伊ワミ村田製作所(左ページ参照)。ここでは、企業紹介や工場見学を行いました。



三浦さんの話に聞き入る参加者(群言堂にて)

その中でも、ムラタセイサクくん、セイコちゃんの技術に参加者の目は釘付けでした。
その後、バスで石見銀山公園まで移動。大森町の町並みを散策しながら、目的地の群言堂本店(左ページ参照)へ。群言堂スタッフでインターンの三浦さんから都会と大田の生活の違いや、大田の魅力などの話があり、ツアー参加者からも様々な質問があり、話に花が咲きました。

夕食は浜焼きバイキング「暖DAN(波根町)」で新鮮な魚介類などを楽しみました。特にサザエやアワビ、干物などが人気で「食べ過ぎちゃった」という参加者も。

ちようどりリニューアルオープン記念で石見神楽の上演があり、「大蛇」の演目がはじまると食事を忘れて楽しむ参加者もいました。

2日目は空き家見学からスタート。今回は三瓶地区の別荘地の物件やテニスコート付物件、温泉にほど近い物件など、移住後の生活を想像しながら、様々な物件を見学しました。



空き家見学の様子

その後、田舎体験施設の子ご美の里（山口町）でこんにやくづくり体験。こんにやくづくりがはじめての参加者も多く、どうやってよいのかと戸惑っていた参加者も、最後には楽しんでこんにやくを丸めてお湯に浮かべていました。



こんにやくづくり体験の様子（子ご美の里にて）

昼食は子ご美の里で収穫した野菜をたっぷり使った料理が並び、昔ながらのかまどで炊いたご飯は、おこげも程良くできていました。子ご美の里で販売されていたどぶろくを購入する参加者もあり、乾杯する場面も。食材やメニューについての質問もあり、参加者だけでなく地元の人々との交流を楽しんでいる様子でした。

昼食後、ツアーの最後に立ち寄ったのは三瓶小豆原埋没林公園。地上では何もないように見える公園も、地下へ降りると壮大な巨木群が目の前に広がります。参加者は地底にそびえる巨木群に興味津々な様子で、

その壮大なたたずまいに目を奪われていました。



埋没林に興味津々な参加者

移住体験ツアーを終え、参加者からは「また訪れたい」、「移住した若者ががんばっている姿に関心しました」、「友人にも広めていきたい」などの感想をいただきました。大田市では今後も、移住・定住のための様々な取り組みを行っています。

Uターン者も
たくさん
働いています!

株式会社イワミ村田製作所

昭和40年に株式会社村田製作所のグループ会社として設立。セラミックスを原料としたコンデンサなどの電子部品を生産しており、スマートフォン・携帯電話、パソコン、ゲーム機、テレビなどの家電製品、自動車等々、幅広く使用されています。

イワミ村田製作所 検索



群言堂(株式会社石見銀山生活文化研究所)

ライフスタイルブランド「群言堂」を通して、上質な素材を選び、日本の気候風土に合ったデザインを考え、心地よい暮らしを支えるものづくりをしています。また古民家を再生し宿や飲食店などに活用するほか、地元で発見された酵母菌の研究開発なども行っています。

群言堂 検索



“おおだ”の空き家情報を定住PRサイト「どがどが」に掲載中!

どがどが 検索